



学校だより

平成26年度 第7号

発行日 11月21日

練馬区立大泉第二中学校

校長 眞々田 透

生涯にわたり学ぶ

副校長 田島 幸夫

11月も半ば過ぎ、今年もあと1月半ほどで終わります。3年生は、ひとまず11月の三者面談を終え、卒業後の進路について考える時間が多くなってきた頃だと思えます。自分の進路について悩みや不安を感じるということは、これまで以上に自分を見つめ、真剣に考えるようになってきた証拠です。2年生、1年生は、そのような先輩方の様子を察し、これからも落ち着いた学校生活を送ってほしいと思えます。

受験だから特別に、というわけではありません。1、2年生にも共通する、「学ぶ姿勢」、「学ぶ構え」について、少し考えてもらいたいと思えます。

日本の教育は、そもそも身体から入る教育で始まった、ということを入りから聞いたことがあります。昔は、板の間に「正座」をして、学問を学びました。「正座」で数時間いることは、足もしびれ、痛いことですが、この「正座」は、ある意味、合理性があったというのです。姿勢を崩さず、「学ぶ構え」を作り、「姿勢を崩したい」という気持ちと戦うことで、自分の身を律することを同時に行い、自然に、「学ぶ構え」を訓練していたというのです。

武道の時間や朝礼などで、「姿勢を正して！」・・・と、号令がかかることがあります。「姿勢を正す」と言うことは、学習効率の面から大切なことなのです。「姿勢を正す」と言うことは、気持ちの入り方にも大きな変化をもたらすというのです。やる気がない時、知らず知らずのうちに机に肘を付き、ほおづえをつくなどの姿勢をついついとりがちです。姿勢が悪いということは、見た目が悪いのは当然で、姿勢の悪さによって首筋などの血流が悪くなり、脳に栄養分や酸素を運びにくくさせるので、脳に良いわけがありません。同じ計算問題を、姿勢を正しくして行うのと、姿勢を崩して行うのでは、その回答数や正答率に大きく影響するといった実験データもあると聞きました。また、「学ぶ構え」がない人に、何か教えようとしても、なかなか吸収してもらえません。野球に興味が無い人に、いくら野球を教えてもなかなか上手にならないのと同じです。同じことが学習にも言えるのだと思えます。

一度、「学ぶ構え」に入れば、同じことを聞いても吸収力が全く変わります。

たかが、「姿勢」かもしれませんが、「姿勢を正す」ということは、「自分で自分の身を律すること」に繋がります。自分の気持ちや身体を上手にコントロールして、常に緊張ということではなく、リラックスした上で、軽く背筋を伸ばす感じでいいのです。これからも「学ぶ姿勢」「学ぶ構え」を意識した授業態度で、1時間1時間の授業を大事に受けてほしいと思えます。同時に、人は、生涯にわたり学び、学習の活動が続いていくことも意識してほしいと思えます。

3学年 学力調査の結果分析と授業の工夫・改善

国語（全国学力調査）

本校の平均正答率は、すべて都・全国の平均を上回っている。

Aでは、特に「書くこと」「言語の知識・理解・技能」が、Bでは「読むこと」「言語の知識・理解・技能」も都・全国より上回っている。朝読書による読書習慣の確立、日頃の作文指導や、小漢字テスト指導が成果を上げていると考える。今後は授業の中で読書案内や、タイプ別の作文の書き方の指導、漢字の習得だけでなく語彙としての言葉指導等に力を入れる。

社会（区学力調査）

本校の平均正答率は、区の平均をやや上回っている。観点別では、「社会的事象についての知識・理解」の正答率が一番高く、次に「資料活用の技能」、「社会的な思考・判断・表現」、「社会的事象への関心・意欲・態度」の順番である。また領域別では、歴史的分野の方が地理的分野の問題よりも正答率が高い。今後の課題として、一般社会の情報を収集したり活用したりすることで、より社会的事象に対する興味や関心をもたせることが大切と思われる。授業の中で、自らの考えをまとめたり、発表したりする機会を増やすことで思考力の向上を図る。

数学（全国学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、すべての単元において都・全国の平均を上回っている。特に、数と式や図形の単元では、知識に関する設問だけではなく活用に関する設問に対しても正答率が高く、意欲を持って取り組んでいる生徒が多いと考える。また、関数の単元においては、知識・理解に関する設問の正答率が都・全国を大きく上回っているものの、活用に関してはやや上回るにとどまっている。今後、授業で日常的な事柄の中にある数量の関係を調べる場面を多く設定し、習得した知識を問題解決に活用しようとする姿勢を育てる。

理科（区学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、全体的に区の平均を下回っている。本校の生徒は科学事象に関する関心・意欲は高く、実験・観察なども意欲的に取り組んでいるものの、知識の定着に課題があるといえる。今後は授業のはじめに基本事項の定着のための小テストを実施したり、単元毎に問題演習を実施したりするなど、反復練習をする機会を多く設けることによって知識の定着を図る指導に重点を置いていく。

英語（区学力調査）

本校の生徒の平均正答率は、区の平均値をやや下回っている。技能別に見ると、「書くこと」に関する正答率の低さは全国的な課題であり、年間を通じて取り組んでいくべきである。授業の中で、トピックを与え、自分の身の回りの事柄を伝えるアクティビティ等を通して、「書くこと」技能の向上を目指していく。同時に自分の伝えたいことを英語で伝えるという、自発的なコミュニケーション能力の向上につなげていきたい。

クリーン運動 落ち葉掃き



大泉第二中学校PTAの活動は、会員の皆様の協力によって成り立っており、受け継がれてきました。

11月4日(火)より行っています落ち葉掃きもその一つです。本校の校庭や敷地には、いろいろな大切な樹木があります。「練馬百景」にも選ばれた桜も、秋には紅葉し、落ち葉の山となります。花は散るもの葉は落ちるもの。落ち葉を集めて片付ければ気分もスッキリします。クリーン運動の一環として、毎朝8時～8時20分まで実施しています。生徒と一緒に進む活動に、是非ご参加ください。活動期間は12月13日(土)まで行っています。

第13回練馬区中学校駅伝大会(主催:練馬区立中学校PTA 聯合協議会)

11月29日(土) 都立光が丘公園陸上競技場および公園内周回道路にて行われます。

(午前9時女子スタート、10時20分男子スタート、11:30個人走)3連覇に向けて、練習も追い込み段階に入りました。今年も男女各2チームがエントリーしました。昨年も代表選手として走った生徒を中心に、今年のメンバーがどこまで走り切れるか、見応えがあります。どうぞ、ご声援よろしくお願い致します。

<代表選手>

(男子) 村越愉一、六笠駿大、小代智央、中村偉皇、茂木息吹、安藤圭吾、黒沼創太、宮嶋克樹
外山雄登、近藤湧斗、山田雅天、松田玲音、村越風斗、板垣誠吾、佐藤匠磨

(女子) 杉本美希、川本寿音、長谷川りこ、川本百音、彦坂真優、葛目陽香、有馬早紀、札幌詩乃
武藤理奈、中倉幸乃、雨宮涼奈、久保木麻衣、勝見 茜、今野里咲、小野寺未空、大谷綾乃

第8回 自分で作る朝ごはんコンクール **銅賞** 1年F組 大竹あすか

受賞作品は、11月21日(金)～11月25日(火)の期間、練馬区役所本庁舎1階アトリウムにおいて展示されます。

平成27年度版 健やかカレンダー 原画作品 入賞

佳作 石川 朝(3年F組) 池田 美月(3年A組)

第37回 大泉東地区祭 絵画展

会長賞 穴原 大河 **実行委員長賞** 三好 くるみ

銀賞 坂井 真理子、石田 夕葵、矢部 諒音

銅賞 大宮 萌々、川原のこ、宮永 幸奈、高階 友菜

教養委員会主催 防犯講話および護身術講習会

11月20日(木)、図書室において、第3回の催しとして、「防犯講話および護身術講習会」が開かれました。インターネット、スマートフォンなど便利になっていく一方、危険も増加しています。警視庁石神井警察少年1係 佐藤 様、スクールサポーター大坪 様を講師にサイバー犯罪の現状をお聞きしました。後半は、護身術の実技指導があり、有意義な講習会となりました。



SST講習会 ~家族でSSTを使ってみよう~



練馬区立学校教育支援センターの事業の一環として、永年にわたり本区スクールカウンセラーをされ、臨床心理士としてもご活躍されている斎藤富由起先生をお招きして、保護者の皆様を対象に、SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)講習会を開催いたしました。「うちの子、近頃扱いにくくなったわぁ」「何も話してくれなくて心配」と家庭でのお悩みが多い中、それが解消できるきっかけになる講習会となりました。今後は、2年生(11/26実施、1年生(12/11実施)教職員の研修会においても支援の方法として、SSTを活用していきます。

学校防災訓練(平成26年11月8日実施)

地域の方々と協働して防災訓練に取り組むことで、生徒に地域の一員である意識と自覚をもたせることを目的に学校防災訓練を実施しました。1年生は、関口完太郎避難拠点運営連絡会会長から避難拠点の役割について、また、練馬区防災課内村様から防災に関する基礎知識を学びました。2年生は、30分ごとに3つのグループに分かれ、石神井消防署大泉出張所署員の方や石神井消防団第六分団の方々から簡易トイレの設置、搬送訓練、応急処置法、AED心肺蘇生法の仕方を学び、「訓練を通して、いろいろな体験活動ができ、いざという時には人の役に立ちたい」と感想を述べる生徒が多くいました。たくさんの方々にご協力いただき、御礼申し上げます。ご指導ありがとうございました。

